

(参考資料としての利用に限る)

Microsoft IIS 7.x サーバ証明書インポート方法

1. はじめに

インポートは、IIS7.xにおいて、CSR（秘密鍵）の新規生成プロセスを「経ず」に、Windows Serverに証明書をインストールするための手続きです。

IIS7.x 環境下での、サーバ証明書および秘密鍵をインポートする手順を以下に説明します。
大まかな手順は、以下のとおりです。

(1)Windows Server2008 へのサーバ証明書と秘密鍵のインポート

(2)インポートしたサーバ証明書と秘密鍵を IIS へ適用

2. Windows Server 2008 へのサーバ証明書と秘密鍵のインポート

インポートしたいサーバ証明書と秘密鍵を PFX、もしくは PKCS#12 形式で用意します。バックアップの方法に関して、IIS7.x の場合は、「IIS7.x サーバ証明書エクスポート方法」、OpenSSL の場合は、「OpenSSL による サーバ証明書および秘密鍵の形式変換 (PKCS#12/PEM 形式)」をご参照ください。

https://www.jcert.co.jp/support/pdf/faq3/export_iis7.pdf

https://www.jcert.co.jp/support/pdf/faq3/OpenSSL_PKCS.pdf

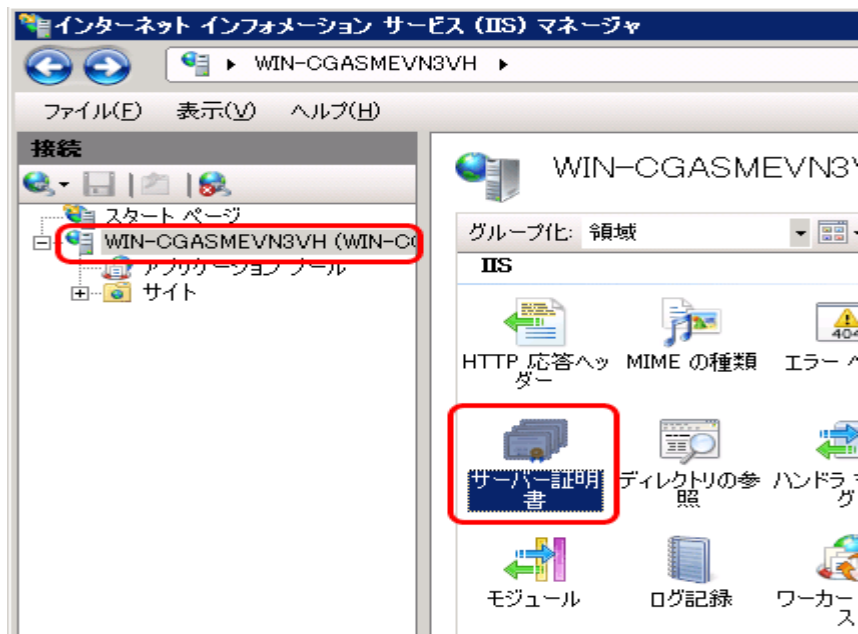
ここでは "jcert_co_jp.pfx" という名前で保存したと仮定します。

注： バックアップの際に中間 CA 証明書を含んだ PFX ファイルを生成された場合でも、確実を期すため、別途、中間 CA 証明書のインストールが必要となります。 中間 CA 証明書のインストール方法については、弊社ガイド「中間 CA 証明書・ルート証明書インストール iis」をご参照ください。

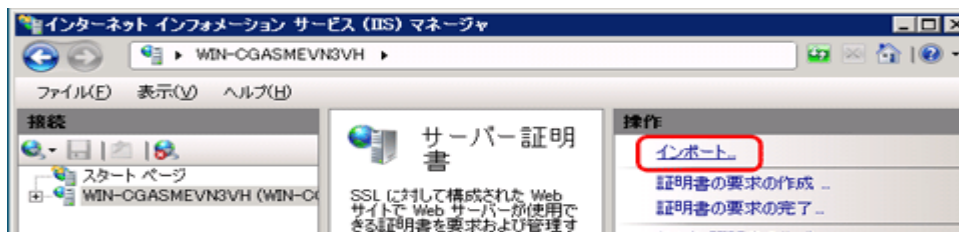
https://www.jcert.co.jp/support/pdf/certificate/CA_install_iis.pdf

(1) 【スタート】 → 【コントロールパネル】 → 【管理ツール】 → 【インターネットインフォメーションサービスマネージャ】 の順にアクセスします。

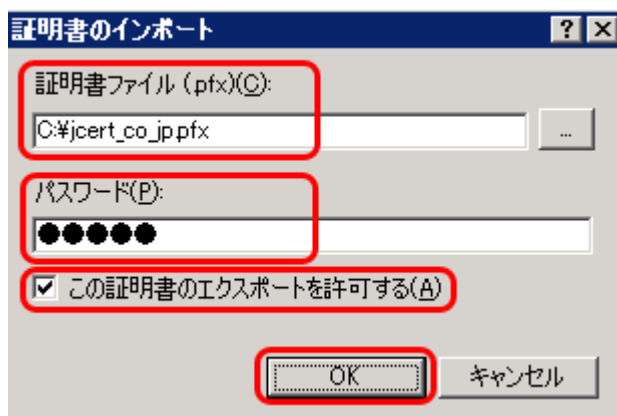
以下の画面が開きますので、【サーバ証明書】をダブルクリックします。



(2) 右側の操作メニューの【インポート】をクリックします。

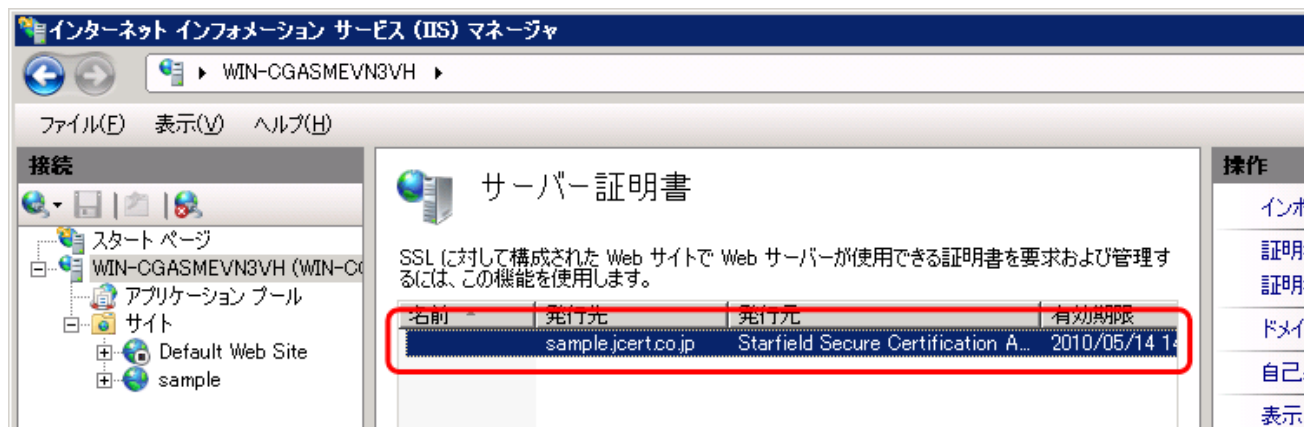


(3) 「証明書ファイル (.pfx)」で jcert_co_jp.pfx を指定します。「パスワード」には、エクスポート時あるいは PEM 形式からの変換時に設定したパスワードを入力してください。このサーバで更に秘密鍵のバックアップを取る場合は【この証明書のエクスポートを許可する】にチェックを入れてください。【OK】をクリックします。



以上でインポートは完了です。

【サーバ証明書】の画面で、インポートされたことを確認してください。



(注) 更新時に、稼働中証明書と新たにインポートする更新証明書との混同を防ぐため、インポート済証明書情報のうち、左端の「名前 (フレンドリ名)」をお客様任意の通称に Rename (発行年月日を付記した名前とする等。ここでは jcert.co.jp2 に Rename) されることをお勧めします。

<https://tksoft.work/archives/3165>

3. インポートした サーバ証明書と秘密鍵を IIS へ適用
 インポートしたサーバ証明書と秘密鍵をサーバへ適用します。

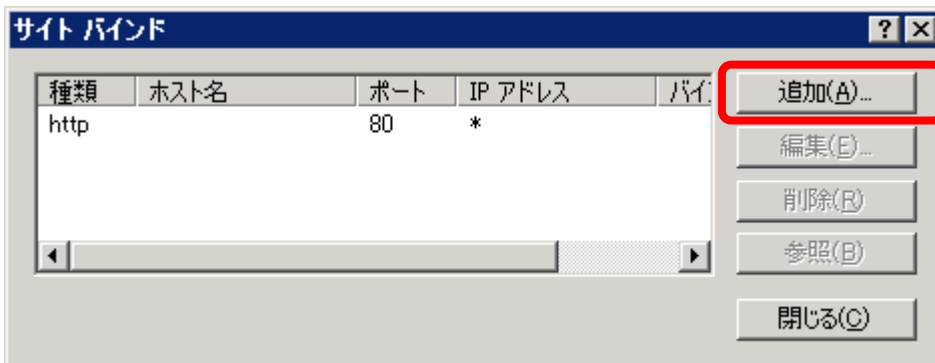
3.1 バインド

サーバ証明書を適用したい **Web サイト**を選択し、右側の操作メニューの【バインド】をクリックします。

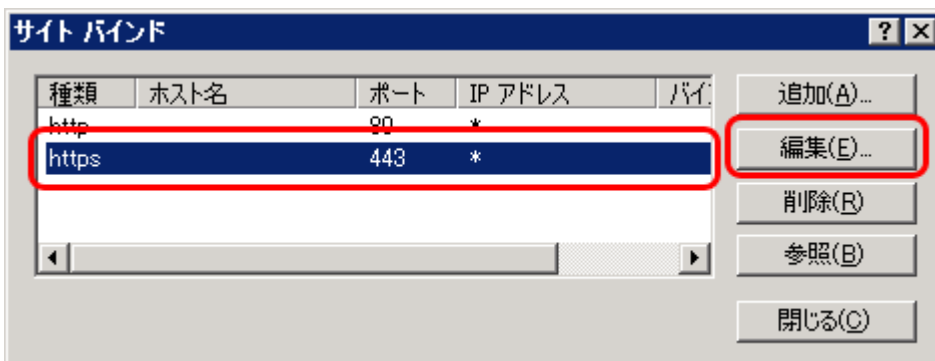


3.2 サイトバインド

(1) 新規にインポートする場合には、以下の画面が表示されますので、【追加】をクリックします。



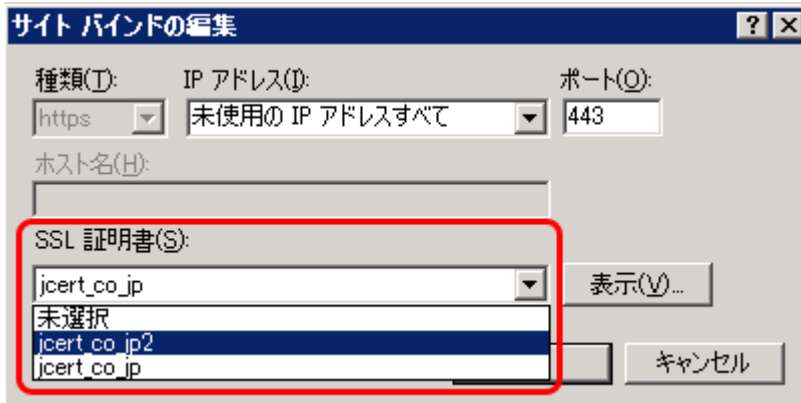
(2) 既存のサイトに上書きインポートする場合には、以下の画面が表示されますので、ご利用中の「https」を選択し【編集】をクリックします。



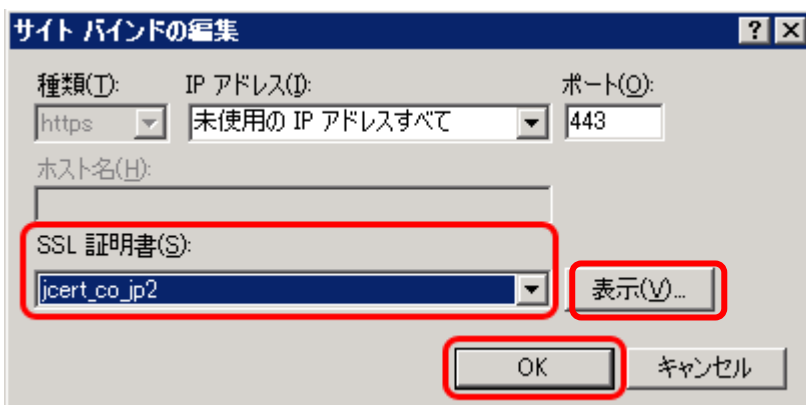
3.3 サイトバインドの編集

以下画面が表示されますので、インポートしたサーバ証明書を選択します。

※ 「SSL 証明書」には、フレンドリ名やコモンネームが表示されます。



「SSL 証明書」の選択が完了しましたら、【OK】をクリックします。（【表示】ボタンにより、選択した証明書情報（コモンネーム・有効期間）を確認してください。）



以上でサーバ証明書の適用は完了です。

この文書に記載されている情報は予告なしに変更されることがあります。この文書に記載されている情報に従ってユーザーが操作を行った結果、ユーザーが被る損害については、ジェイサートでは一切責任を負いません。ユーザーは自己責任においてのみ、この文書を使用するものとします。